

なんでも継手

すべてのFEP管に対応した
なんでも継手[®]

難燃仕様



製品特長

1) 全ての FEP 管に対応！

現在市場にある多くの「波付硬質ポリエチレン管 (FEP)」に対応しております。(平成 29 年 1 月現在)

2) 施工性が大幅UP！

現場で簡単に接続が可能で、すぐに「埋め戻し」できます。

3) 確実な止水性！

水膨張性不織布を使用しており、優れた止水性能を発揮します。

4) 滑剤が不要！

配管施工に滑剤を用いる事はありません。

5) 難燃性！

自己消火性を有する材料で製造しております。



製品仕様

サイズ (管材呼び径)	A		B		C		D		E	
	マウス部 外径	マウス部 内径	受け継手長さ		適応壁厚(Bタイプ)		弊社工場 穴加工径	適用可能 コアビット径		
		標準	ロング	標準	ロング					
φ 30	65	30.5	198	247	100 未満	100~150	50	46~50		
φ 40	75	40.5	198	247	100 未満	100~150	60	56~60		
φ 50	95	45.4	198	247	100 未満	100~150	70	66~70		
φ 65	110	60	198	247	100 未満	100~150	85	85~90		
φ 80	125	75	198	247	100 未満	100~150	100	100~105		
φ 100	150	95	198	247	100 未満	100~150	120	120~125		
φ 125	195	116	284	-	150 未満	-	160	153~160		
φ 150	220	141	305	-	150 未満	-	180	178~185		

(単位: mm)

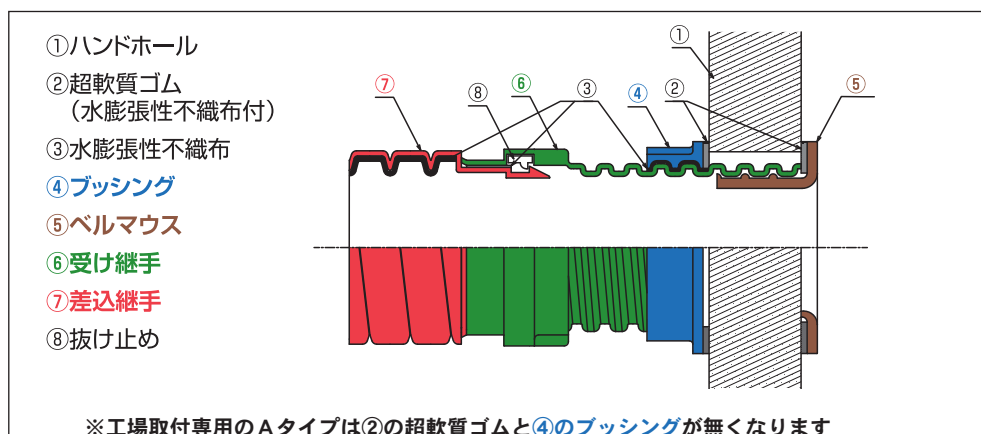
※φ 125, φ 150 は標準タイプのみとなります。

※工場取付専用の A タイプの適応壁厚は、受け継手長さ未満となります。

※ハンドホールに対しての穴加工の詳細は、102 ページをご参照下さい。

※φ 100 まで限定となりますが、差込継手が独立山管(未来工業製ミラレックス等)に対応したのもございます。

■製品図解(なんでも継手Bタイプ/現場取付用)



■取付方法(なんでも継手Bタイプ)

ハンドホールへの受け継手取付

■ハンドホール側の対応方法



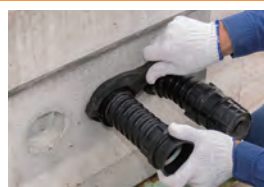
① なんでも継手Bタイプ
部材一式



② ハンドホール削穴に受け
継手を挿入



③ ハンドホールの内側から
ベルマウスを締め込む



④ ブッシングを締め込む
(専用スパナ利用時)



⑤ 受け継手取付完了

※ベルマウスとブッシングの締め付けはしっかり行う必要があります。

※φ50以上についてはブッシングを工具で締め付けることを推奨します。(オプションで専用スパナを用意しております)

管材の取付(らせん管の場合)

■一般的なFEP管に対する差込継手の取付方法



① らせん管に対して差込
継手を廻し込みます



② これ以上廻せない処まで
廻し込みます



③ 差込継手取付完了



④ ハンドホール側との接続
は差し込むだけです



⑤ 管材接続完了

管材の取付(独立山管の場合)

■独立管に対する差込継手の取付方法



① 独立山管用の差込継手は
形状が異なります



② 独立山管に差込継手を奥
まで差し込みます



③ 差込継手取付完了



④ ハンドホール側との接続
は差し込むだけです



⑤ 管材接続完了

※差込継手はいずれも人力の範囲内でしっかり行う必要があります。

※受け継手に差込継手が入りにくい場合は、上下左右に動かしながらはめ込む様にして下さい。

※差込継手は使用する直前まで袋から取り出さないようにして下さい。